漁船海難月報（速報）

平成十六年十月分

第七管区海上保安本部

十三件（十六隻）の漁船海難が発生。衝突海難が六件（漁船同士が三件で合計九隻）、萩沖では一人乗り漁船が転覆し船長が死亡。

この他にも、船からの海中転落や心筋梗塞、不整脈などのため操船できなくなり、浅瀬に乗り上げるなどといった一人乗りの漁船の海難が目立っています。

漁船海難防止強化旬間について

9月21日から30日までの期間中、海難防止講習会を合計24回開催し、800人以上の方に参加していただきました。

また、期間中、11箇所の漁協がライフジャケット着用推進モデル漁協に指定され、当管内は合計17箇所となりました。早速、ライフジャケットを着用した乗組員の方が目立つようになってきたとの報告が寄せられています。

合計16隻

種類別

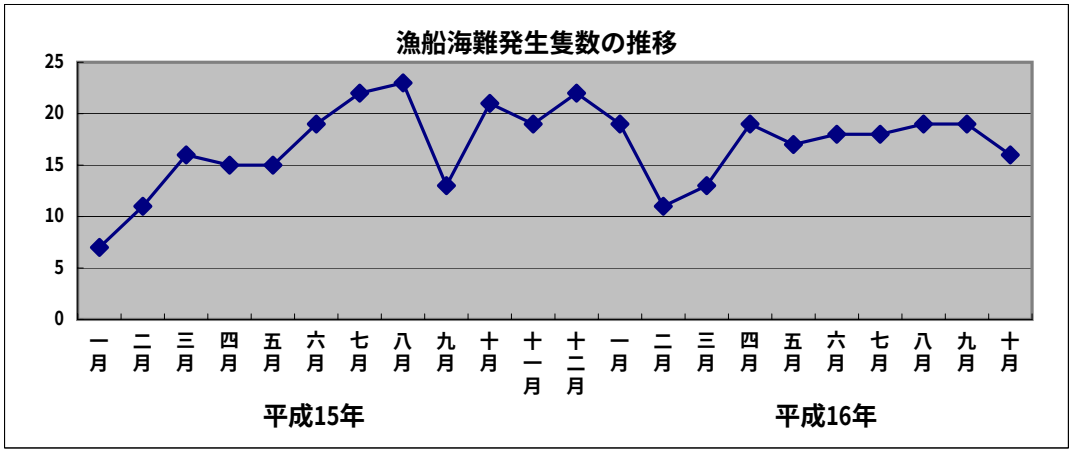
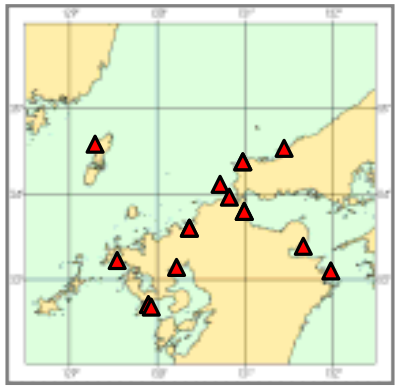
衝突	9
乗揚	0
転覆	1
浸水	0
推進器障害	1
舵障害	1
機関故障	0
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	1
安全阻害	0
その他	2

県別

山口県	3
福岡県	7
佐賀県	0
長崎県	4
大分県	2

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。

※火災船の写真
係留中に出火したもので、幸いけが人はありませんでした。



平成16年10月
漁船海難発生地点図